

2009年度第3四半期
決算説明資料

2010年2月3日

旭化成株式会社

1. 2009年度第3四半期実績

主要連結決算数値 P4

連結損益計算書 P5

特別損益 P6

連結貸借対照表 P7

連結キャッシュ・フロー計算書 P8

セグメント別売上高・営業利益 P9～14

2. 2009年度通期予想

当期業績予想 P16

セグメント別売上高 P17

セグメント別営業利益 P18

セグメント別業績推移 P19～20

3. 参考資料

セグメント別海外売上高 P22

セグメント別概況 P23～31

1. 2009年度第3四半期実績

主要連結決算数値

(億円)

	08年度		09年度	
	10-12月	4-12月	10-12月	4-12月
				a
売上高	3,798	12,230	3,641	10,227
営業利益	99	501	220	400
経常利益	57	463	230	380
四半期純利益	16	250	164	206

10-12月比較 対前年同期		4-12月比較 対前年同期	
増減額	増減率	増減額	増減率
-158	-4.2%	-2,003	-16.4%
121	121.9%	-101	-20.2%
173	304.6%	-83	-17.9%
148	935.3%	-44	-17.6%

09年度 前回予想*	進捗率
b	(a/b)
14,370	71.2%
500	79.9%
470	80.9%
160	128.7%

<前提>

ナフサ価格 (国産ナフサ:¥/kl)	52,000	69,600	42,500	39,000
為替レート (相場平均:¥/US\$)	96	103	90	94

	09/3月末	09/12月末
総資産	13,793	14,251
自己資本	6,038	6,227
有利子負債残高	3,156	3,111
D/Eレシオ	0.52	0.50

増減
458
189
-45
-0.02

* 2009年11月2日発表の業績予想。

連結損益計算書

(上段: 百分比、% 下段: 金額、億円)

	08年度		09年度		10-12月比較		4-12月比較	
	10-12月	4-12月	10-12月	4-12月	増減	増減率	増減	増減率
売上高	100.0% 3,798	100.0% 12,230	100.0% 3,641	100.0% 10,227	-158	-4.2%	-2,003	-16.4%
売上原価	79.4% 3,015	78.5% 9,595	75.2% 2,737	76.4% 7,812	-278	-9.2%	-1,783	-18.6%
売上総利益	20.6% 783	21.5% 2,635	24.8% 904	23.6% 2,415	121	15.4%	-220	-8.4%
販管費	18.0% 684	17.4% 2,134	18.8% 684	19.7% 2,015	-0	-0.0%	-119	-5.6%
営業利益	2.6% 99	4.1% 501	6.0% 220	3.9% 400	121	121.9%	-101	-20.2%
営業外損益 (内、金融収支)	-42 (-0)	-37 (0)	10 (-3)	-19 (-4)	52 (-3)	/	18 (-4)	/
(内、持分法投資利益)	(3)	(9)	(5)	(3)	(3)	/	(-5)	/
経常利益	1.5% 57	3.8% 463	6.3% 230	3.7% 380	173	304.6%	-83	-17.9%
特別損益	-11	-25	46	-0	57	/	25	/
税前利益	1.2% 45	3.6% 438	7.6% 275	3.7% 380	230	506.6%	-58	-13.3%
法人税等	-29	-183	-108	-172	-79	/	11	/
少数株主損益	-0	-5	-4	-3	-3	/	3	/
四半期純利益	0.4% 16	2.0% 250	4.5% 164	2.0% 206	148	935.0%	-44	-17.6%

特別損益

(億円)

	08年度		09年度		増減	
	10-12月	4-12月	10-12月	4-12月	10-12月	4-12月
投資有価証券売却益	0	0	—	1	-0	1
固定資産売却益	5	5	—	0	-5	-5
持分変動利益	—	—	2	2	2	2
仲裁裁定金*	—	—	65	65	65	65
特別利益	5	6	67	68	62	62
投資有価証券評価損	2	3	6	13	4	10
固定資産処分損	14	24	4	17	-10	-8
減損損失	1	3	0	1	-1	-2
環境対策費	—	—	1	12	1	12
事業構造改善費用	—	—	11	25	11	25
特別損失	16	31	21	68	5	37
特別損益	-11	-25	46	-0	57	25

* 米CoTherix社からの仲裁裁定金

連結貸借対照表

(億円)

	09/3月末	09/12月末	増減		09/3月末	09/12月末	増減
流動資産	6,822	7,130	308	負債	7,680	7,913	233
現金及び預金	980	834	-146	流動負債	4,879	5,008	128
受取手形及び売掛金	2,089	2,577	488	固定負債	2,801	2,905	105
棚卸資産	2,735	2,872	136	純資産	6,114	6,338	224
その他	1,018	847	-171	株主資本	5,991	6,082	91
固定資産	6,971	7,121	150	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	4,413	4,526	113	資本剰余金	794	794	-0
無形固定資産	374	361	-13	利益剰余金	4,183	4,274	91
投資その他の資産	2,185	2,234	49	自己株式	-19	-20	-1
				評価・換算差額等	47	145	98
				少数株主持分	75	111	35
資産合計	13,793	14,251	458	負債純資産合計	13,793	14,251	458

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	08年度		09年度	
	10-12月	4-12月	10-12月	4-12月
営業活動によるキャッシュ・フロー①	144	416	340	866
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-311	-991	-210	-747
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	-167	-575	130	119
財務活動によるキャッシュ・フロー④	706	909	-9	-269
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	-11	-35	-3	3
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	528	299	117	-147

現金及び現金同等物の期首残高⑦	601	830	720	981
非連結子会社の連結化に伴う増加額⑧	-	-	-	4
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧)	1,129	1,129	837	837

セグメント*別売上高・営業利益(1)

(第3四半期・10-12月比較)

(億円)

	売上高			営業利益		
	08年度 [†] 10-12月	09年度 10-12月	増減	08年度 [†] 10-12月	09年度 10-12月	増減
ケミカル	1,567	1,590	23	-23	103	127
住宅	1,121	960	-160	77	67	-10
医薬・医療	296	296	0	28	29	1
繊維	281	259	-22	-5	-0	5
エレクトロニクス	312	374	62	12	26	14
建材	167	124	-44	10	11	0
サービス・エンジニアリング等	54	38	-16	10	1	-9
消去又は全社	-	-	-	-11	-17	-6
合計	3,798	3,641	-158	99	220	121
海外売上高	877	904	27			
(比率)	23.1%	24.8%	1.7%			

* 09/1Q決算より一部セグメント名称を以下の通り変更。(次ページ以降同様)

(従来) ケミカルズ → (新) ケミカル (従来) ファーマ → (新) 医薬・医療
ホームズ → 住宅 せんい → 繊維

† 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポアTM」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナTM」を繊維セグメントへ移管。

セグメント別売上高・営業利益(2)

(9ヶ月累計・4-12月比較)

(億円)

	売上高			営業利益		
	08年度* 4-12月	09年度 4-12月	増減	08年度* 4-12月	09年度 4-12月	増減
ケミカル	5,789	4,523	-1,266	107	218	111
住宅	2,824	2,537	-286	108	108	1
医薬・医療	924	859	-65	130	63	-67
繊維	922	746	-176	7	-29	-36
エレクトロニクス	1,099	1,059	-40	139	55	-84
建材	480	369	-111	19	17	-2
サービス・エンジニアリング等	193	134	-59	41	12	-29
消去又は全社	-	-	-	-50	-43	7
合計	12,230	10,227	-2,003	501	400	-101
海外売上高 (比率)	3,246 26.5%	2,665 26.1%	-580 -0.5%			

* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

- ①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。
- ②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

セグメント別売上高増減要因 (第3四半期・10-12月比較)

(億円)

	08年度* 10-12月	09年度 10-12月	数量差	売値差	うち為替因	その他差	計
ケミカル	1,567	1,590	103	-198	-17	118	23
住宅	1,121	960	-172	16	-	-4	-160
医薬・医療	296	296	-2	3	0	-0	0
繊維	281	259	5	-27	-4	0	-22
エレクトロニクス	312	374	100	-63	-14	26	62
建材	167	124	-46	2	-	0	-44
サービス・エンジニアリング等	54	38	-16	0	0	0	-16
合計	3,798	3,641	-30	-267	-35	139	-158

* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

セグメント別営業利益増減要因 (第3四半期・10-12月比較)

(億円)

	08年度* 10-12月	09年度 10-12月	数量差	売値差	うち為替因	コスト差等	計
ケミカル	-23	103	20	-198	-17	305	127
住宅	77	67	-61	16	-	35	-10
医薬・医療	28	29	-3	3	0	1	1
繊維	-5	-0	2	-27	-4	30	5
エレクトロニクス	12	26	52	-63	-14	25	14
建材	10	11	-8	2	-	6	0
サービス・エンジニアリング等	10	1	-8	0	0	-1	-9
消去又は全社	-11	-17	-	-	-	-6	-6
合計	99	220	-6	-267	-35	394	121

* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

- ①旭化成イーテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。
- ②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

セグメント別売上高増減要因 (9ヶ月累計・4-12月比較)

(億円)

	08年度* 4-12月	09年度 4-12月	数量差	売値差		その他差	計
					うち為替因		
ケミカル	5,789	4,523	-446	-908	-70	88	-1,266
住宅	2,824	2,537	-307	32	-	-11	-286
医薬・医療	924	859	28	-19	-15	-73	-65
繊維	922	746	-102	-74	-19	0	-176
エレクトロニクス	1,099	1,059	19	-129	-27	70	-40
建材	480	369	-123	12	-	0	-111
サービス・エンジニアリング等	193	134	-59	0	0	0	-59
合計	12,230	10,227	-991	-1,087	-131	75	-2,003

* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

セグメント別営業利益増減要因 (9ヶ月累計・4-12月比較)

(億円)

	08年度* 4-12月	09年度 4-12月	数量差	売値差	うち為替因	コスト差等	計
ケミカル	107	218	-43	-908	-70	1,062	111
住宅	108	108	-112	32	-	80	1
医薬・医療	130	63	25	-19	-15	-72	-67
繊維	7	-29	-18	-74	-19	56	-36
エレクトロニクス	139	55	36	-129	-27	9	-84
建材	19	17	-33	12	-	19	-2
サービス・エンジニアリング等	41	12	-28	0	0	-1	-29
消去又は全社	-50	-43	-	-	-	7	7
合計	501	400	-173	-1,087	-131	1,159	-101

* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

2. 2009年度通期予想

当期業績予想

(億円)

	08年度			09年度今回予想					09年度 前回予想*
	上期	下期	計	上実績	下予想		計		
					10-12月	1-3月			
売上高	8,432	7,099	15,531	6,586	3,641	4,093	7,734	14,320	14,370
営業利益	401	-52	350	180	220	130	350	530	500
経常利益	407	-82	325	151	230	135	364	515	470
当期純利益	234	-187	47	42	164	24	188	230	160

<前提>

ナフサ価格 (国産ナフサ:¥/kl)	78,350	39,500	58,925	37,250	42,500	49,000	45,750	41,500	38,625
為替レート (相場平均:¥/US\$)	106	95	101	95	90	90	90	93	93

	08年度	09年度 予定
一株当たり年間配当金	10円	10円
配当性向	295.0%	60.8%

* 2009年11月2日発表の業績予想。

セグメント別売上高

(億円)

	08年度*			09年度今回予想					09年度 前回予想†	増減 a-b
	上期	下期	計	上実績	下予想		計 a			
					10-12月	1-3月				
ケミカル	4,221	2,672	6,893	2,933	1,590	1,587	3,177	6,110	6,060	50
住宅	1,703	2,396	4,099	1,577	960	1,393	2,353	3,930	3,940	-10
医薬・医療	628	568	1,196	563	296	301	597	1,160	1,180	-20
繊維	641	523	1,164	487	259	264	523	1,010	1,010	-
エレクトロニクス	787	510	1,297	685	374	381	755	1,440	1,470	-30
建材	313	296	609	246	124	101	224	470	500	-30
サービス・エンジニアリング等	139	134	273	96	38	66	104	200	210	-10
合 計	8,432	7,099	15,531	6,586	3,641	4,093	7,734	14,320	14,370	-50

* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーテリアルズ(株)設立に伴い、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

† 2009年11月2日発表の業績予想。

セグメント別営業利益

AsahiKASEI

(億円)

	08年度*			09年度今回予想					09年度 前回予想 [†] b	増減 a-b
	上期	下期	計	上実績	下予想		計 a			
					10-12月	1-3月				
ケミカル	131	-196	-65	115	103	17	120	235	215	20
住宅	30	188	219	41	67	127	194	235	220	15
医薬・医療	102	19	120	34	29	7	36	70	80	-10
繊維	13	-28	-15	-29	-0	-1	-1	-30	-30	-
エレクトロニクス	126	-54	73	28	26	10	37	65	80	-15
建材	8	8	17	6	11	-7	4	10	10	-
サービス・エンジニアリング等	31	26	56	10	1	3	5	15	15	-
消去又は全社	-40	-16	-55	-26	-17	-27	-44	-70	-90	20
合計	401	-52	350	180	220	130	350	530	500	30

* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

† 2009年11月2日発表の業績予想。

セグメント別売上高推移

(億円)

	08年度*				09年度			09年度 4Q 予想
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
ケミカル	1,950	2,272	1,567	1,104	1,329	1,603	1,590	1,587
住宅	637	1,066	1,121	1,275	585	992	960	1,393
医薬・医療	346	282	296	272	285	278	296	301
繊維	307	334	281	242	224	263	259	264
エレクトロニクス	396	391	312	198	315	370	374	381
建材	147	166	167	129	116	130	124	101
サービス・エンジニア リング等	77	62	54	80	39	57	38	66
合 計	3,860	4,572	3,798	3,301	2,893	3,693	3,641	4,093

* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

セグメント別営業損益推移

(億円)

	08年度*				09年度			09年度 4Q 予想
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
ケミカル	62	69	-23	-173	22	93	103	17
住宅	-37	68	78	111	-30	71	67	127
医薬・医療	90	12	28	-9	31	3	29	7
繊維	11	2	-5	-22	-15	-14	-0	-1
エレクトロニクス	68	58	12	-66	-6	34	26	10
建材	3	5	10	-2	-0	6	11	-7
サービス・エンジニアリング等	13	18	10	15	4	6	1	3
消去又は全社	-16	-24	-11	-5	-10	-17	-17	-27
合計	194	207	99	-151	-3	183	220	130

* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

- ①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。
- ②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

3. 参考資料

セグメント別海外売上高 (9ヶ月累計・4－12月比較)

(億円)

	08年度*4-12月			09年度4-12月			増減	
	売上高	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率(%)		金額	比率(%)	金額	伸び率(%)
ケミカル	5,789	2,212	38.2	4,523	1,740	38.5	-472	-21.3
住宅	2,824	-	-	2,537	-	-	-	-
医薬・医療	924	218	23.6	859	188	21.9	-29	-13.5
繊維	922	296	32.2	746	238	31.9	-58	-19.7
エレクトロニクス	1,099	473	43.1	1,059	481	45.4	7	1.5
建材	480	-	-	369	-	-	-	-
サービス・エンジニアリング等	193	46	23.8	134	18	13.5	-28	-60.7
合計	12,230	3,246	26.5	10,227	2,665	26.1	-580	-17.9
東アジア地域 [†] への売上高		1,936	15.8		1,743	17.0	-193	-10.0

<参考>

ホームズ・建材を除いた売上高 8,926 3,246 36.4 7,320 2,665 36.4

* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

- ①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。
- ②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

† 中国、韓国、台湾

ケミカル概況(4-12月累計)



<概況>

高付加価値系事業は一部の事業などで業績の回復が遅れたが、モノマー系事業の取引条件改善などにより、前年同期比減収、増益となった。

- ・モノマー系事業については、原燃料価格の下落により製品価格が下落したが、取引条件の改善、アジア市場での需要回復により業績は好調だった。
- ・ポリマー系事業については、自動車・家電分野などでの需要回復遅れの影響を受けた。
- ・高付加価値系事業は、サランラップ[®]などの消費材が好調に推移し、添加剤事業やコーティング事業なども堅調に推移したが、水処理事業やイオン交換膜事業などで業績の回復が遅れた。

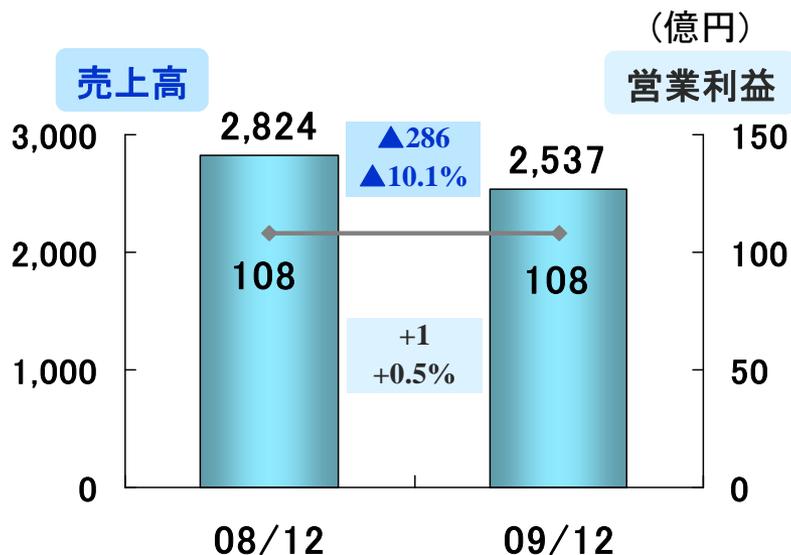
売上高増減分析



営業利益増減分析



住宅概況(4-12月累計)(1)



事業別差異分析

(億円)

	08/12(a)		09/12(b)		差異(b-a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
建築請負	2,049		1,748		-301	
分譲	239		225		-13	
他	10		13		2	
小計	2,298	62	1,987	63	-312	1
住宅周辺	525	46	551	45	26	-1
合計	2,824	108	2,537	108	-286	1

<概況>

- ・戸建住宅「ヘーベルハウス™」の引渡戸数が大幅に減少したものの、大幅なコストダウンに努めたことや、住宅周辺事業において、リフォーム事業などが堅調に推移したことから、前年同期比減収、微増益となった。
- ・建築請負事業の受注高は、厳しいマクロ環境の下、戸建て、集合共に順調に受注を伸ばし、10-12月で前年同期比14.6%の増、4-12月累計で前年同期比2.8%の増となった。

<トピックス(10月以降)>

- ・子育て世代を支援する生活提案「+NEST」(プラスネスト)を新発売(12月)
- ・住友林業(株)、三井ホーム(株)と設置している共同購買委員会に積水化学工業(株)が新たに参加(12月)
- ・設計自由度を高め、長期優良住宅に適合する次世代省エネ性能を実現した3階建て住宅「ヘーベルハウス™ フレックス G3」を求めやすい価格で新発売(1月)

※上記事業別業績数値は参考情報として簡便計算で算出

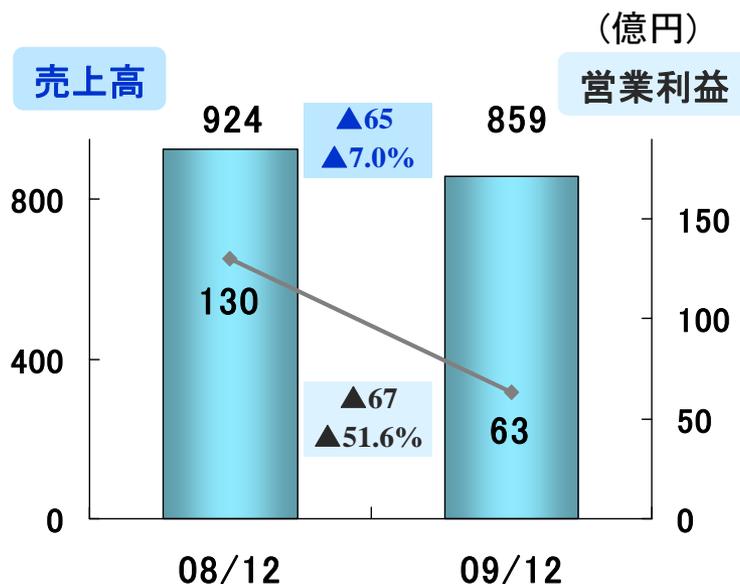
住宅(2)

売上高、受注高の状況

(単位:億円、()内は対前年同期比)

		請負受注高	請負売上高	分譲売上高	他*	単独計	関係会社等	連結計	受注残
05	上期	1,504 (▲1.7%)	1,402 (0.9%)	205 (213.0%)	4	1,611 (10.4%)	243 (14.1%)	1,853 (10.8%)	3,204
	下期	1,629 (9.5%)	1,793 (4.3%)	131 (▲3.6%)	6	1,930 (3.8%)	261 (16.0%)	2,192 (5.1%)	3,040
	通期	3,133 (3.8%)	3,194 (2.8%)	336 (67.0%)	11	3,541 (6.7%)	504 (15.1%)	4,045 (7.7%)	
06	上期	1,561 (3.7%)	1,347 (▲3.9%)	60 (▲70.9%)	5	1,411 (▲12.4%)	280 (15.2%)	1,691 (▲8.7%)	3,253
	下期	1,473 (▲9.6%)	1,829 (2.0%)	230 (75.8%)	5	2,064 (6.9%)	302 (15.7%)	2,366 (7.9%)	2,898
	通期	3,034 (▲3.2%)	3,176 (▲0.6%)	289 (▲13.8%)	10	3,475 (▲1.9%)	582 (15.5%)	4,057 (0.3%)	
07	上期	1,536 (▲1.5%)	1,312 (▲2.6%)	50 (▲16.5%)	4	1,366 (▲3.2%)	303 (8.2%)	1,669 (▲1.3%)	3,123
	下期	1,525 (3.5%)	1,659 (▲9.3%)	195 (▲15.1%)	5	1,860 (▲9.9%)	333 (10.3%)	2,193 (▲7.3%)	2,988
	通期	3,061 (0.9%)	2,971 (▲6.5%)	245 (▲15.4%)	10	3,225 (▲7.2%)	637 (9.5%)	3,862 (▲4.8%)	
08	上期	1,571 (2.3%)	1,294 (▲1.4%)	60 (19.7%)	7	1,360 (▲0.4%)	343 (13.2%)	1,703 (2.0%)	3,266
	3Q	597 (▲13.7%)	755 (14.1%)	179 (981.0%)	4	938 (37.8%)	183 (9.6%)	1,121 (32.2%)	3,107
	下期	1,339 (▲12.1%)	1,779 (7.2%)	240 (22.8%)	9	2,027 (9.0%)	369 (10.8%)	2,396 (9.3%)	2,826
	通期	2,911 (▲4.9%)	3,073 (3.4%)	299 (22.2%)	15	3,387 (5.0%)	712 (11.8%)	4,099 (6.1%)	
09	上期	1,546 (▲1.6%)	1,158 (▲10.5%)	52 (▲12.6%)	8	1,219 (▲10.4%)	358 (4.4%)	1,577 (▲7.4%)	3,213
	3Q実	685 (14.6%)	590 (▲21.9%)	173 (▲3.2%)	5	768 (▲18.2%)	193 (5.4%)	960 (▲14.3%)	3,308
	下予	1,544 (15.3%)	1,682 (▲5.4%)	283 (18.0%)	7	1,972 (▲2.7%)	382 (3.4%)	2,353 (▲1.8%)	3,075
	通期予想	3,090 (6.1%)	2,840 (▲7.6%)	335 (11.9%)	15	3,190 (▲5.8%)	740 (3.9%)	3,930 (▲4.1%)	

* 他: 損害保険販売手数料収入等



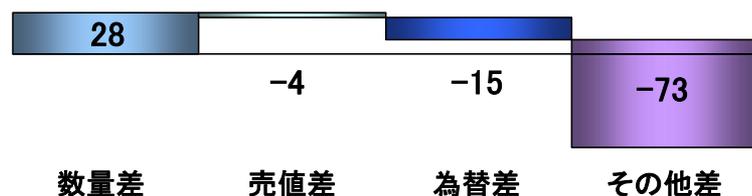
<概況>

- ・医薬事業は、排尿障害改善剤「フリバス™」やカルシトニン製剤「エルシトニン™」などが販売数量を伸ばしたものの、ライセンス収入が大幅に減少したことなどから前年同期比減収、減益となった。
- ・医療事業は、ポリスルホン膜人工腎臓「APS™」を中心に円高の影響を強く受けたこと、減価償却費が増加したことなどから、前年同期比減収、減益となった。

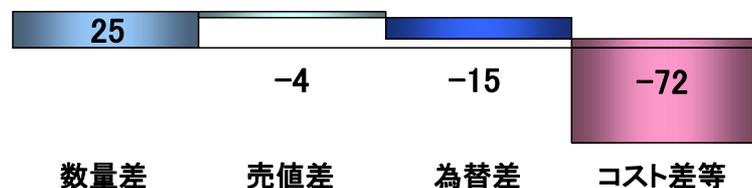
<トピックス(10月以降)>

- ・韓国で医療機器販売会社の営業を開始(11月)
- ・米CoTherix社がローキナーゼ阻害剤「ファスジル」の開発・販売権を供与するライセンス契約を違反したことに基づく損害賠償についての仲裁手続で最終裁定、CoTherix社に対し91百万ドルの支払命令(第3四半期に特別利益として約65億円を計上)(12月)
- ・北米でのバイオプロセス事業(ウイルス除去フィルター「プラノバ™」輸入販売事業と装置事業)を統合し、「旭化成バイオプロセス」を設立(12月、2010年1月より統合)

売上高増減分析



営業利益増減分析



1. 売上高内訳

(億円)

		08年度			09年度	
		10-12月	4-12月	年間	10-12月	4-12月
医薬系	医薬	134	438	563	144	411
	その他	23	77	103	17	57
	計	156	515	666	160	468
医療系*		139	409	530	135	391
医薬・医療 計		296	924	1,196	296	859

* 旭化成クラレメディカル、旭化成メディカル、及びその関係会社の合計。

<主要医薬品の国内売上高>

	08年度			09年度	
	10-12月	4-12月	年間	10-12月	4-12月
エルシトニン TM	35	103	132	37	109
フリバス TM	28	73	98	38	106
ブレディニン TM	17	48	62	18	51
トレドミン TM	12	41	57	13	39
エリル TM	4	11	14	4	11
リコモジュリン TM	2	4	4	4	9

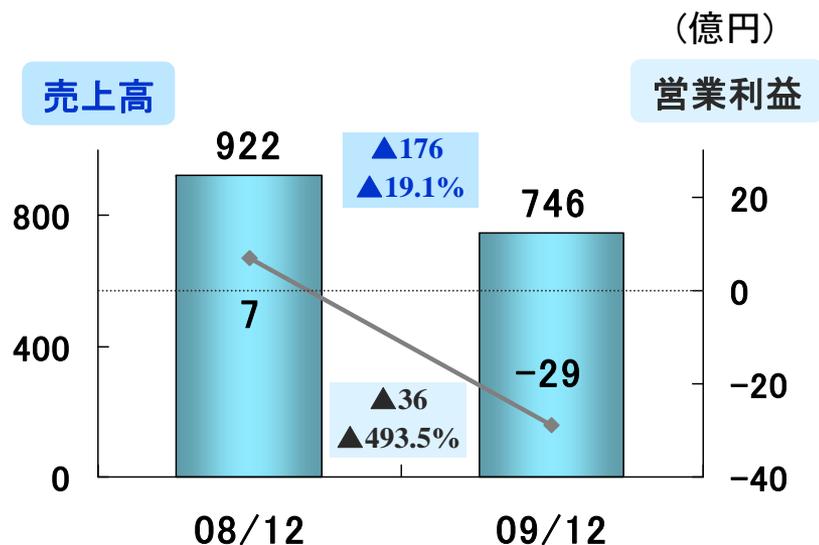
2. 研究開発の状況

	品目	区分	剤名	適応症
フェーズⅢの品目	①AT-877注	適応拡大	(ローキナーゼ阻害剤)	脳梗塞急性期
	②PTH注	新成分新薬	(副甲状腺ホルモン)	骨粗鬆症
	③AK-120錠	適応拡大	(抗ヘルペスウィルス剤)	単純疱疹
フェーズⅡの品目	①AT-877錠	適応拡大 剤型追加	(ローキナーゼ阻害剤)	肺高血圧症
フェーズⅡ準備中	①AK150注	新成分新薬	(ポリ硫酸ペントサン)	変形性関節症

探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会で高まる医療ニーズを解決するために整形外科領域や泌尿器領域を中心に積極的に活動しています。今後共、医療ニーズをいち早く捉え解決するために研究開発対象や自社技術を絶えず革新するとともに、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進します。

繊維概況(4-12月累計)

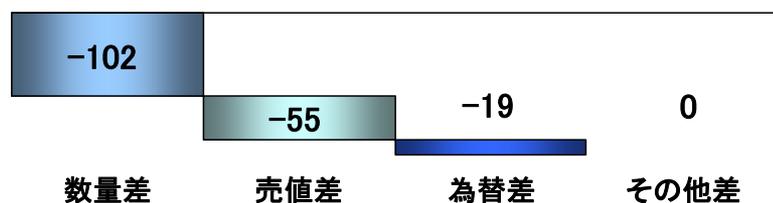


<概況>

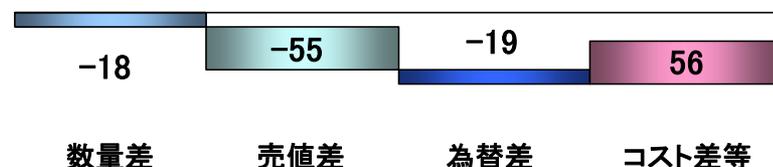
以下の各製品の状況により、前年同期比減収、減益となった。

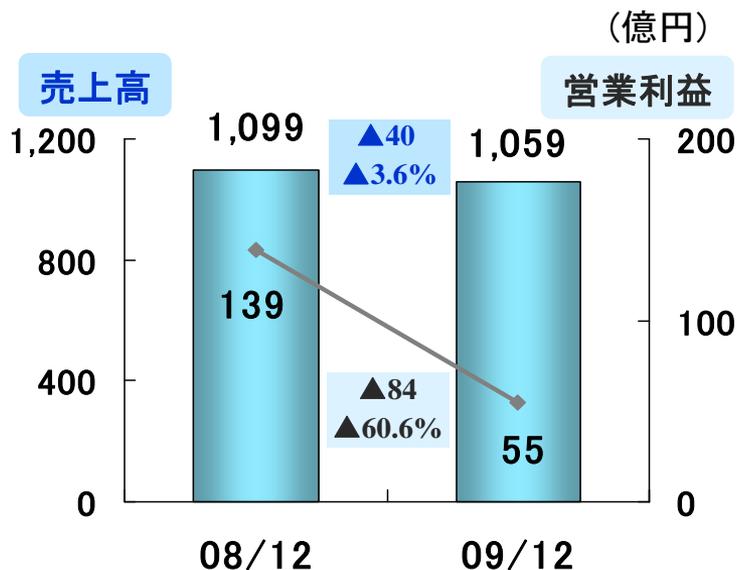
- ポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」
製品販売価格の下落。
- 再生セルロース繊維「ベンベルグ™」
販売数量の減少、円高の影響。
- 不織布事業
スパンボンドを中心とした販売数量の減少。
- ナイロン66繊維「レオナ™」
エアバッグ用途の販売数量は増加したものの、タイヤコード用途の販売数量が減少。

売上高増減分析



営業利益増減分析



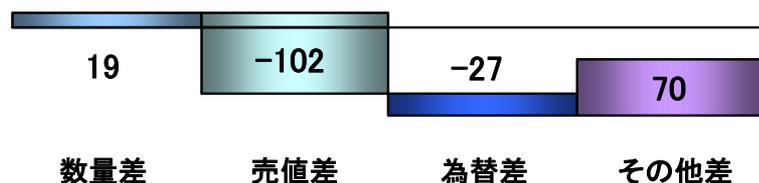


<概況>

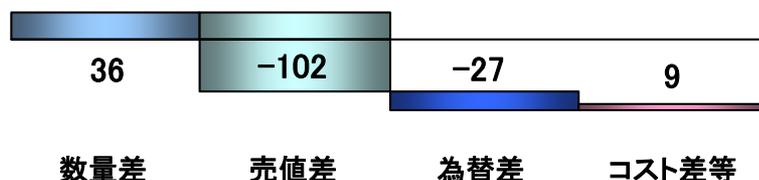
以下の各事業の状況により、前年同期比減収、減益となった。

- ・電子部品系事業は、新規子会社の連結、LSIの新規用途での販売数量の増加があったものの、既存用途向けLSIの回復の遅れや磁気センサ製品などの販売量の減少に加え、円高の影響を受け、前年同期比増収、減益となった。
- ・電子材料系事業は、リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」を中心に販売数量は回復基調にあったものの、各製品で販売価格下落の影響を受け、前年同期比減収、減益となった。

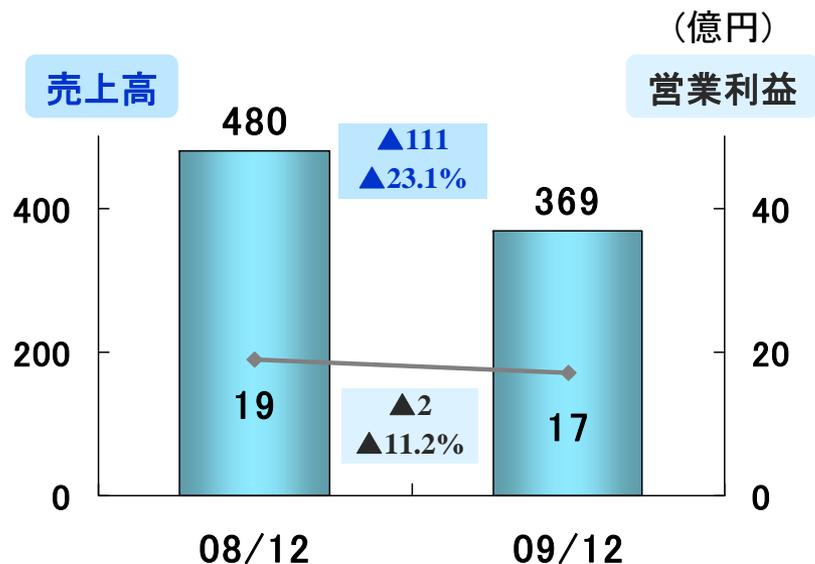
売上高増減分析



営業利益増減分析



建材概況(4-12月累計)



売上高増減分析



営業利益増減分析



<概況>

- ・軽量気泡コンクリート「ヘーベルTM」系製品などの建築・住宅用資材を扱う住建事業、基礎杭などの基礎事業及び断熱材事業において、積極的な新規用途の開拓やコストの削減に努めたものの、建築着工数の減少により販売数量が減少したことから、前年同期比減収、減益となった。

<トピックス(10月以降)>

- ・穂積工場の軽量気泡コンクリート「ヘーベルTM」生産設備1ラインの廃止を決定(1月、2010年9月生産終了予定)

業績予想の適切な利用に関する説明、 その他特記事項

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。